

令和4年度（2022年度）第1回公立大学法人熊本県立大学理事会 議 事 録

日 時：令和4年（2022年）6月22日（水）午後3時21分～午後3時27分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：

<理事> 理事長 白石 隆
副理事長（学長）堤 裕昭
理事（副学長）鈴木 元
理事（事務局長）倉光 麻里子
理事 本松 賢
<監事> 監事 河喜多 保典
監事 本田 悟士

<事務局> 川元次長、三隅教務入試課長、榎原学生支援課長、松永企画調整室長、
二宮総務課長、犬塚地域・研究連携センター事務長、坂本デジタルイ
ノベーション推進センター事務長、宮本国際教育交流センター事務長
・図書館事務長、井総務課財務班長、新川総務課総務班参事、井上総
務課総務班参事、天池企画調整室参事、松本企画調整室参事

1 開会（進行：川元次長）

2 理事長あいさつ

3 議題（議長：白石理事長）

（1）審議事項

①第3期中期計画・令和3年度計画に関する自己点検・評価（案）等について
事務局から、資料1に基づき、中期計画・年度計画に関する自己点検・評
価（案）等について、全50項目中、S～Cの4段階評価でS評価が2項目、A
評価が47項目、B評価が1項目であり、B評価の1項目は大学院の収容定員
充足率によるものだが、順調に実施できたと総括していることを説明した。

審議の結果、案のとおり承認された。

②令和3年度（2021年度）決算について

事務局から、資料2に基づき、令和3年度（2021年度）決算について、貸
借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コス
ト計算書、利益の処分に関する書類（案）、決算報告書により説明があった。

前年度の総利益より約700万円の減となったものの、当期総利益は約2千
800万円を確保できた。この利益については、法に基づき、教育研究等環境整
備目的積立金として積み立てることとし、県に承認を求めるとの説明があ
った。

続いて、河喜多監事から独立監査人の監査報告書及び監査報告の説明があ
った。

審議の結果、案のとおり承認された。

③第3期中期目標期間業務実績見込に係る自己点検・評価（案）について

事務局から、資料3に基づき、中期目標期間業務実績見込に係る自己点検・評価（案）について、全50項目中、S～Cの4段階評価でS評価が2項目、A評価が47項目、B評価が1項目であり、B評価の1項目はTOEFL®ITP 550点以上の学生の割合について計画終了時の達成が困難であるとの見込みで中間評価ではB評価とするもので、今後の傾向を勘案して検討することを説明した。

審議の結果、案のとおり承認された。

④令和4年度（2022年度）6月補正予算案について

事務局から、資料4に基づき、6月補正予算案について、新型コロナウイルスへの感染防止と教育研究の両立に向けたデジタル環境整備等のための約1億6千万円の増額補正であること、県知事に年度計画の変更の届出を行う予定であることを説明した。

審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

①学長選考会議委員の選出について

事務局から、資料5に基づき、学長選考会議委員について、任期が令和4年3月末で満了しており、経営会議委員及び教育研究会議委員から各3名選出されたことの報告があった。

②熊本県立大学未来基金の令和3年度（2021年度）収支状況について

事務局から、資料9に基づき、熊本県立大学未来基金の収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

③文部科学省補助事業「地域活性化人材育成事業～SPARC～」への申請について

事務局から、資料10に基づき、熊本大学及び東海大学と連携して申請することの報告があった。

4 その他

○ 本松理事から、文部科学省補助事業「地域活性化人材育成事業～SPARC～」は是非進めていただきたいとの意見があった。また、大学全体として、JST「共創の場形成支援プログラム」の採択が大きいとの意見があった。

○ 次回理事会は、令和4年（2022年）10月19日（水）の経営会議終了後に開催予定。

5 閉会

以上